

シリーズ
原発・いのち・みらい
その7

原発の真実を知ってほしい
原発の危険から子どもを守る
北陸医師の会

吉田 均 (能美市・小児科)

私は節電意識に乏しく、エアコン、パソコン、電気の消し忘れなどはしょっちゅうあり、家人からよく叱られたものです。原発事故でようやく節電の大切さが目覚め、同時に、遅まきながらですが、原発についてもいろいろと疑問がわいてきました。

原発は、人には制御できない、とても危険な物体だったのです。チェルノブイリやスリーマイル島の事故は知っていたはずなのに、「原子力の平和利用」という言葉の裏を読み解くこともできず、原発運動にも耳を傾けて来なかったのは、お恥ずかしい限りです。

資源の乏しい日本には、原発は不可欠だという意見も聞きました。確かに、核燃料の再利用ができれば、石油などのエネルギー資源に頼らなくてもよいかもしれません。しかし、再利用に不可欠な高速増殖炉も同じく失敗続きで、この夢のような話は完全に行き詰まっています。

それに、たとえ電気が不足したとしても、その時は足りない電気でやりくりすればよいのかなあと感じます。昨年、当院での節電経験から、「節電力」という大きな電力があることに気が

健康を損ない、命を縮めていくとのこと。この点の認識もほとんどありませんでした。人間の命と引き換えに電気がつくられてきたということですよ。これは生命倫理に反することかなと思います。

「原発がなければ日本経済が持たない」と、新聞に書いてありました。経済が疲弊すれば確かに困りますよね。しかし、今回の事故で原発はコストに見合うものではないと思えました。もう一度事故が起きれば、その大切な日本経済も同時に壊滅するような気がします。

資源の乏しい日本には、原発は不可欠だという意見も聞きました。確かに、核燃料の再利用ができれば、石油などのエネルギー資源に頼らなくてもよいかもしれません。しかし、再利用に不可欠な高速増殖炉も同じく失敗続きで、この夢のような話は完全に行き詰まっています。

事故が起きれば、真っ先に子どもたちの命が危険にさらされ、甲状腺がんなどの病気が増えるのですよね。その手術痕をなんとチェルノブイリの首飾りと呼ぶらしいです。酷な名前ですね。今回、これを予防するヨード剤さえ迅速に配布されなかった...。

こればかりではありません。原発を推進してきた人々の対応と行動に、不信感が大きく膨らみました。平常運転でも、原発で働く人々は放射能に被曝し、

健康を損ない、命を縮めていくとのこと。この点の認識もほとんどありませんでした。人間の命と引き換えに電気がつくられてきたということですよ。これは生命倫理に反することかなと思います。

「原発がなければ日本経済が持たない」と、新聞に書いてありました。経済が疲弊すれば確かに困りますよね。しかし、今回の事故で原発はコストに見合うものではないと思えました。もう一度事故が起きれば、その大切な日本経済も同時に壊滅するような気がします。

攻撃をできるということ？ 原発は、そのお膳立てをしているようなものかもしれないですね。

使用済み核燃料の問題もあります。安全に廃棄する方法は、ないらしいですね。この死の灰は、負の遺産として未来に受け継がなければいけないそうです。十万年も。子どもたちに「あとではよろしく」と言えるでしょうか。

私たち医師は、国民の命を守る仕事だと思ってきました。

「はだしのゲン」を寄贈する石川市内の小中十二校に

核戦争を防止する石川医師の会事務局 小野 栄子

核戦争を防止する石川医師の会事務局 小野 栄子

動に取り組んでいます。被爆者が高齢化し、被爆の実相を知ることが難しくなりつつある中、実際の被爆体験をもとに描かれた『はだしのゲン』は、核廃絶運動を若い世代へとつなぐバトンの役割を担っています。

「戦争はいやだ」「核兵器はいらぬ」という思いの原

「はだしのゲン」寄贈募金のお願い

※子どもたちに核被害の実相を伝え、核のない平和な世界への希望をつないでいくために、『はだしのゲン』を子どもたちに贈りませんか？ 寄贈募金にご協力ください。

■募金振込先／郵便振替 00710-5-5823 「核戦争を防止する石川医師の会」
※通信欄に「はだしのゲン寄贈募金」と記入してください。

■事務局／核戦争を防止する石川医師の会 電話 076-222-5373

金沢市内の小中十二校に

「はだしのゲン」寄贈

原発の危険から子どもを守る
北陸医師の会

事務局：〒931-3155
石川県能美市松が岡三六七
(よしだ小児科クリニック内) 世話人 吉田均

ご参加いただける方は、左記のいずれかにご連絡いただければ幸いです。

●電話：076-151-6100
●ファックス：076-151-6406
●メール：syosai@pc2.nsknet.or.jp



学校医の西田直日先生(左)が高尾台中学校を訪れ、正吉喜久夫校長(右)に『はだしのゲン』を寄贈。(12月8日)

「囲碁解答」

黒1はこの一手。白2に黒3、5が好手段で白死です。黒3で白4、黒5、白6、黒7、白5以下で白4で5なら黒4で白死です。

(問題は14面にあります)

「将棋解答」

▲3二角△1二玉▲2四桂△同歩▲1三桂成△同玉▲3三飛成△1二玉▲2三竜▲まで9手詰。

(問題は14面にあります)

「数独」の解答

39で、答えは「12」

(問題14面)

3	8	4	5	9	7	6	1	2
2	7	5	4	6	1	9	3	8
1	6	9	3	8	2	4	5	7
5	2	6	9	1	3	7	8	4
9	3	8	7	4	6	5	2	1
4	1	7	2	5	8	3	6	9
7	5	1	8	3	4	2	9	6
8	9	2	6	7	5	1	4	3
6	4	3	1	2	9	8	7	5

「7つのまちがひ解答」

「答え」①右の人の足 ②右上の雲 ③右下の建物 ④龍の玉 ⑤龍の角 ⑥龍のあごひげ ⑦龍のしっぽ

(問題は14面にあります)

「はだしのゲン」寄贈募金のお願い

※子どもたちに核被害の実相を伝え、核のない平和な世界への希望をつないでいくために、『はだしのゲン』を子どもたちに贈りませんか？ 寄贈募金にご協力ください。

■募金振込先／郵便振替 00710-5-5823 「核戦争を防止する石川医師の会」
※通信欄に「はだしのゲン寄贈募金」と記入してください。

■事務局／核戦争を防止する石川医師の会 電話 076-222-5373